

「ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿」に関するシンポジウム（札幌会場）

アルカリシリカ反応（ASR）に対する診断や抑制対策の考え方は、国内外で大きく変わりつつあります。抑制対策以降の被害、ASR が発生した構造物の補修後の再劣化など、様々な場面で技術的課題が顕在化してきました。また、建設分野においても国内技術の海外展開が積極的に進められております。国内とは異なる地質構造の海外展開への対応も含め、ASR に対する診断や抑制対策の考え方を提示することは必要不可欠となっています。

このような背景の下、平成 23 年度に「ASR 診断の現状とあるべき姿研究委員会」が設立され、3 年間にわたって活動を行ってまいりました。委員会では、コンクリート構造物における ASR のリスクの考え方を基に、ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿について議論してきました。これら議論の成果として、本研究委員会は診断フローや抑制対策を提案いたしました。

この度、本研究委員会の 3 年間の活動成果を報告するとともに、標記シンポジウムを開催し、ASR に対する診断と抑制対策のあるべき姿について議論する場を設けることとなりました。つきましては、関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

東京会場では委員会報告とともに 3 件の基調講演を行い、委員会からの提案として、診断方法、コンクリートプリズム試験、抑制対策を説明しました。さらに、ASR 診断については複数の専門家の異なる結果を、最高レベルの材料の専門家と ASR に詳しい管理者から比較・評価し、課題抽出することも行いました。

地方開催では、ASR が地方の特性を反映するものであることから、それぞれの地域で特徴ある情報を地域の専門家から紹介いただくことも含めています。札幌会場では、3 名の講演者を予定しています。

ASR 診断の実務の診断結果の事例が比較紹介される場は他になく、診断の実務者と管理者の双方に極めて有用な場となると確信しております。日頃の疑問にもお答えできる時間を設けたいと考えています。より良い ASR 対策のため、多くの関係者のご参加をお待ちしております

記

日時：平成 26 年 9 月 5 日（金）13:00~17:00

場所：北海道大学学術交流会館小講堂

主催：公益社団法人 日本コンクリート工学会（JCI）

後援（予定）：土木学会，日本建築学会，セメント協会，全国生コンクリート工業組合連合会，日本砕石協会，日本砂利協会，コンクリート用化学混和剤協会，北海道土木技術会コンクリート研究委員会，北海道建築技術協会，北海道コンクリート技術センター，資源・素材学会北海道支部，応用地質学会北海道支部，（地独）北海道立総合研究機構地質研

究所

参加費：正会員（個人）5,000 円／(1)団体会員構成員 6,000 円／会員外 7,000 円／(2)学生 3,000 円（いずれも配布資料と消費税を含みます）

定員：100 名

申込方法：

1) 参加費を郵便局備付けの払込取扱票にて下記口座へ払い込みください（払込手数料は申込者にてご負担願います）。

振替口座番号：00120-5-99133

（加入者名：公益社団法人日本コンクリート工学会）

*通信欄にシンポジウム名・参加者氏名を必ず明記してください。

*納入された参加費は、定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了承ください。

2) 参加申込書に必要事項を記入のうえ、前記 1) で郵便局から発行される払込受領証のコピーを貼付し、送付先を明記した 82 円切手貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先へ郵送してください。折り返し同封の返信用封筒により参加証をお送りします。

※参加申込書は下記をご参照ください。

<http://www.jci-net.or.jp/j/events/symposium/20140718-1105.html>

申込先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F

公益社団法人 日本コンクリート工学会

「ASR 診断と抑制対策シンポジウム」係

（担当：渡部）

TEL：03-3263-7204／FAX：03-3263-2115

E-mail：watanabe@jci-net.or.jp

プログラム（予定）：

13:00 ～ 13:10 開会挨拶：

：山田一夫（独立行政法人国立環境研究所）

13:10 ～ 13:50 「アルカリ骨材反応の岩石学的診断の効用と留意点（仮）」

：片山哲哉（株式会社太平洋コンサルタント）

13:50 ～ 14:50 WG 活動報告 1（WG1・2）

14:50 ～ 15:00 休憩

15:00 ～ 16:00 WG 活動報告 2（WG3・4）

16:00 ～ 16:20 「ASR と凍害の複合劣化」

：長谷川拓哉（北海道大学大学院）

16:20 ～ 16:40 「北海道のコンクリート構造物の調査・診断について」

：吉田行（独立行政法人土木研究所寒地土木研究所）

16:40 ～ 16:55 「北海道産岩石のアルカリ骨材反応性」

：八幡正弘（マイジオ）

16:55 ～ 17:00 閉会

※講演者・講演内容は，変更となることがあります。